

令和7年度の取組報告

淀川舟運活性化協議会のこれまでの取り組み状況

令和6年度末時点における淀川舟運活性化協議会での取組状況としては、●かわまちづくり計画登録5箇所●京都府域から大阪府域までの航路開通（62年振りに復活）●淀川大堰閘門開通●各種淀川沿川イベントの活性化●淀川舟運を活用した防災訓練実施を行ってきたところ。

舟運活性化協議会での取組状況（R6年度末）



緊急物資輸送訓練
一海上からの緊急物資輸送を想定した訓練
(R6.9社会実験)



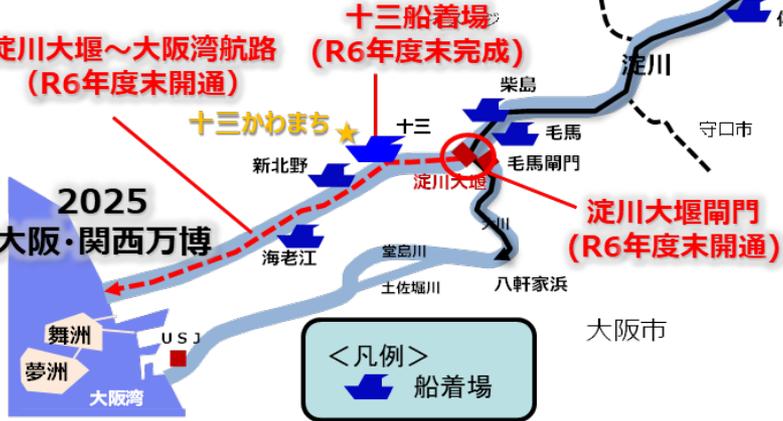
船内コンテンツの充実化
船内でミニコンサート
(R4.12社会実験)



関西の文化・人情を感じるおもてなしクルーズ
(インバウンド向け)
(R5.2社会実験)



十三のアート(淀壁)体験と梅田夜景クルーズ
(インバウンド向け)
(R5.11社会実験)




Eボートイベント (R4.10社会実験)

天ヶ瀬ダム 観光放流

宇治かわまち



淀川クルーズFESTIVAL
伏見航路の開通や淀川沿川の各地で開催される沿川イベントやサイクルイベントと連携
(R6.10社会実験)



船内コンテンツの充実化
テーマパーク帰りの船内でアフタヌーンティークラスを提供
(R4.12社会実験)



沿川イベント連携クルーズ
淀川沿川の各地で開催される沿川イベントやサイクルイベントと連携
(R5.11社会実験)

淀川舟運活性化プロジェクト

1. 淀川舟運の更なるにぎわいの創出

(1) 沿川地域の資源を活用した観光コンテンツの商品化（継続）

自治体と舟運事業者が連携した淀川沿川地域の魅力発信
観光コンテンツの開発・商品化

(2) かわまちづくり計画への登録箇所数増加（継続）

登録に伴う周辺整備・事業者の誘致等により、にぎわいを創出
【整備完成予定】

- ・宇治地区：R13年度完了
- ・伏見地区：R11年度完了
- ・八幡地区：R14年度完了
- ・枚方地区：R12年度完了
- ・十三地区：R11年度完了
- ・久御山地区：R8年度以降登録

(3) にぎわいの拠点整備

MIZBEステーション、守口外島地区公園再整備、船着場等の整備による沿川のにぎわい拠点の創出

2. 災害時における淀川舟運の活用促進

(1) 防災拠点となる施設の拡大
緊急用河川敷道路の延長【宇治川沿い】
緊急船着場の増設【久御山等】

(2) 舟運を活用した防災計画の拡充
舟運を活用した防災計画の策定と地域防災計画への反映【記載済み8自治体】

(3) 防災訓練の実施
確実な避難体制の構築【水上輸送訓練】
地域防災計画の内容拡充

3. 淀川舟運の情報発信

(1) 淀川舟運イベントの継続的な実施
淀川を船で繋ぐイベントの実施
イベントPR映像、ポスターの展開

(2) 国内外に向けた情報発信
海外への魅力発信ポスターの作成
学びの場を活用した親しみの向上
(社会実験)

【これからの淀川舟運活性化プロジェクトイメージ】



・大阪・関西万博後の夢洲では、世界最高水準のIR実現に向けて、2030年秋頃の開業を目指し大阪IR事業が進められている



・京都府の観光エリアとして、現在、「京都市」、「海の京都」、「森の京都」、「お茶の京都」、「竹の里・乙訓」に加え、新たな観光エリアとして、「川の京都」の取り組みが進められている。

京都の川巡り	フラッグシップ・アクション	観光
<p>【目指す姿】 いにしえより、京都の文化や産業と深く関わり、地域をつないできた「川」をキーワードに、京都の魅力を再構築し、人を呼び込み、新たな交流と連携を生み出す京都</p>		
<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 淀川舟運の復活を契機に、淀川沿川の自治体が連携し、淀川クルーズや電車マルシェ、沿川の観光スポット巡りなどからなる「淀川舟運フェスティバル」を令和7年5月頃に開催 (想定会場：京都市伏見区、宇治市、八幡市、久御山町 など) ○ また、令和6年10月13日(日)には万博開幕6か月前に合わせて、淀川全域において、観光船の運航や水上アクティビティ、沿川自治体による様々なイベントなどが実施される「淀川クルーズFESTIVAL」を開催 (想定会場：京都市伏見区、宇治市、八幡市 など) ○ 「京都の川」を通じて育まれてきた京都の文化や産業の歴史の奥深さを学ぶ機会や、川の恵みを味わうことができる料理、川を通じたアクティビティなどを体験できる観光コースを造成 (想定河川等：鴨川、宇治川、桂川、保津川、琵琶湖疏水、高瀬川、由良川、美山川など) 		

令和7年度の舟運活性化の取組

No	名称	概要	コース・船着場	対象	時期	実施主体
①	「川の京都」京都・大阪一気通貫イベント	淀川大堰閘門により新たに開通した京都・大阪の一気通貫ルートを活用した淀川沿川イベント	○伏見⇒枚方⇒淀川大堰閘門⇒十三⇒(夢洲)	関係者 一般	R7年 5月	整備局 京都府 自治体 舟運事業者
②	万博会場来場者輸送社会実験	万博会場への来場客輸送	○十三(大阪市)⇒夢洲 ○毛馬(大阪市)⇒夢洲	関係者 一般	R7年8月～10月	整備局 舟運事業者
③	淀川舟運を生かした賑わいづくり実証実験	「淀川舟運を活用した賑わいづくり」の定着を目指したモニターツアーの実施	○伏見⇒背割堤 (※水深不足のため変更)	関係者 モニター	R7年11月	運輸局 自治体 舟運事業者
④	淀川舟運フェスティバル	京都府域の淀川沿川が一体となった活性化イベント	○伏見⇒八幡	一般	R7年5月	京都府 自治体 舟運事業者
⑤	淀川舟運を活かした観光ツアー造成事業	旅行会社等を対象としたファムトリップや一般向けモデルツアーの実施	○八幡周遊 (※水深不足のため変更)	関係者 一般	R7年11月	京都府 自治体 舟運事業者
⑥	淀川河川敷十三エリアかわまちづくり計画	○バーベキュー事業(予約制) ○淀川・十三周遊クルーズ ○自然体験学習	○十三⇔新淀川大橋	一般	(BBQ) R7年4月～ (クルーズ) R7年10月 (自然学習) R7年7月、10月	民間事業者 (大阪市淀川区 と協定)
⑦	淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり計画	○多自然池まるごと体験 ○生物観察ワークショップ ○リバーテラスくらわんか 等	○はちけんや⇒毛馬 閘門⇒枚方	関係者 一般	R7年7月10月	枚方市 民間事業者

No	名称	概要	コース・船着場	対象	時期	実施主体
⑧	八幡市かわまちづくり計画	<ul style="list-style-type: none"> ○八幡市クルーズ ○三川マルシェWith八幡アクティビティ ○木津川川下り体験 	背割堤周遊 流れ橋→背割堤 (Eポート)	関係者 一般	R7年 5月10月	八幡市 民間事業者
⑨	伏見地区かわまちづくり計画	<ul style="list-style-type: none"> ○屋形船風遊覧船 ○川下り&とっておき体験 ○ふしみなーとフェスタ 等 	八幡～伏見 宇治～伏見 (Eポート) 伏見～久御山	関係者 一般	R7年 5月10月	京都市伏見区 民間事業者
⑩	宇治市天ヶ瀬ダム地区かわまちづくり計画	<ul style="list-style-type: none"> ○水に親しむわくわくフェスタ ○宇治川源平龍舟祭り ○宇治川の鵜飼 等 	宇治～伏見 (Eポート)	関係者 一般	R7年5月	宇治市 民間事業者
⑪	久御山町かわまちづくり計画(未登録)	○KUMIYAMA MIZUBE TRIAL (5/11、11/8)	背割堤→久御山 SUP体験	関係者 一般	R7年 5月11月	久御山町 民間事業者
⑫	緊急用船着場を活用した防災訓練等	災害時を想定した緊急物資等の運搬の検証 災害時を想定した帰宅困難者の輸送訓練	十三(大阪市)⇒淀川 大堰閘門⇒大堰閘門 上流の緊急船着場	関係者	R7年11月 R8年 1月	整備局 自治体 舟運事業者
⑬	枚方市総合防災訓練	枚方市総合防災訓練の一環で、舟運を活用した緊急輸送物資輸送訓練	○枚方船着場→避難所	関係者	R7年11月	自治体 民間事業者
⑭	淀川舟運の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○川の船旅ポータルサイト ○情報発信分析 ○水都大阪の防災を学びリバークルーズ ○淀川150周年PR動画 	○はちけんや→毛馬閘門→淀川ゲートウェイ→十三	関係者 一般	R7年10月	整備局 大阪府 舟運事業者

令和7年度の取組報告

淀川舟運の更なるにぎわいの創出

近畿地方整備局

①「川の京都」京都・大阪一気通貫イベント

- ・5月10～11日に京都（伏見）～背割堤（八幡）間の観光船運航、京阪沿線でイベントを行う「淀川舟運フェスティバル」が開催されました。
- ・イベントの一環として、淀川河川事務所も八幡から引き継ぎ十三まで運航する社会実験を京都府と連携して実施しました。
- ・京都から「淀川ゲートウェイ」を通り、大阪まで運航するのは今回が初めてです。
- ・この他、淀川舟運フェスティバルに淀川河川事務所のブースを出展し、パネル展示・缶バッジ作成体験等を行いました。

■淀川舟運フェスティバル

【イベント概要】

日時：令和7年5月10日（土）～11日（日）

主催：京都府、宇治市、八幡市かわまちづくり協議会、久御山町、淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり協議会、京都ふしみ五四市協議会、（同）伏水酒蔵小路、京阪ホールディングス（株）

内容：伏見船着場～背割堤（八幡）船着場の運航
京阪沿線の5つの会場※でイベント開催
※伏見・八幡・宇治・枚方・久御山の5会場



オープニングセレモニー



伏見マルシェ



淀川河川事務所ブース



缶バッジ作成体験の様子

■京都（伏見）～大阪（十三）間の観光船運航

【運航概要】

日時：令和7年5月11日（日）13:30～18:00

内容：・伏見船着場～背割堤（八幡）船着場～枚方船着場～（淀川ゲートウェイ）～十三船着場
・全体で221名が観光船に乗船
※伏見～八幡間は2日間で167名、八幡～十三間は57名
・船上では、職員が淀川の歴史等を解説しました。

【ルート図】



伏見船着場から出航する船



職員による淀川の解説



淀川ゲートウェイを通過



十三船着場の様子

【参加者の声】

- ・思い入れのある淀川で船に乗れて最高の思い出になった。
- ・川の中からの風景が珍しく、楽しい体験だった。
- ・船内の売店等があればなお良いと思う。

②万博会場来場者輸送社会実験の実施結果について

- 社会実験を計4回計画し、うち3回実施することができた。ただし1回は台風の影響により中止。
- 10月5日には淀川ゲートウェイを通航するルートで社会実験を実施し、淀川ゲートウェイの観光資源としての価値や需要等を確認した。

■十三船着場～夢洲浮棧橋の実施結果について

目的：新たな航路(淀川下流部～臨海部)の課題、需要等の把握

日時：8月23日(土)、9月4日(木)、9月20日(土)

※9月4日は瀬戸内海の海上強風警報発令により中止

10:20出発～11:30到着

運航区間：十三船着場～夢洲浮棧橋

乗船料：大人2000円、子供500円
(シャトルバス料金含む)

募集人数：30名

(3日間で2,737件4,950名の応募)



十三船着場から出航状況



夢洲浮棧橋手前

【乗船者の声】

- ・十三船着場は十三駅から徒歩8分程度と意外と近く便利と感じた
- ・阪神なんば線橋梁の高さが低く、架替工事の必要性を初めて知り、貴重な経験になった
- ・河口部から夢洲浮棧橋までの間は多少揺れたが、その他の区間は快適に乗船することができた

■毛馬船着場～淀川ゲートウェイ～夢洲浮棧橋の実施結果について

目的：新たな航路(淀川下流部～臨海部)の課題、需要等の把握と、淀川ゲートウェイの観光資源としての価値や需要等の把握

日時：10月5日(日) 9:20出発～11:30到着

運航区間：毛馬船着場～淀川ゲートウェイ～夢洲浮棧橋

乗船料：大人3000円、子供1000円
(シャトルバス料金含む)

募集人数：25名

(1日で253件438名の応募)



毛馬船着場



淀川ゲートウェイ

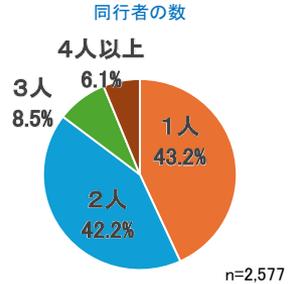
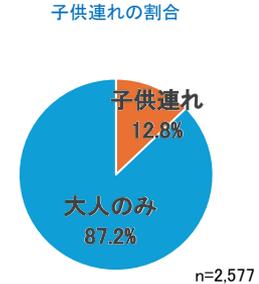
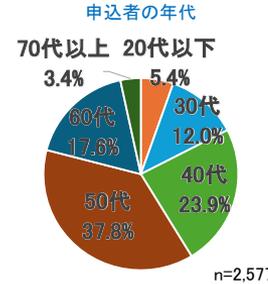
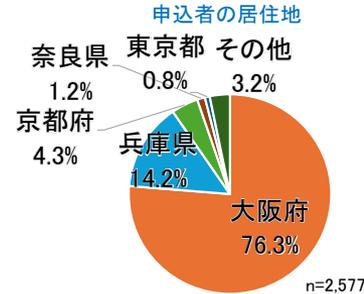
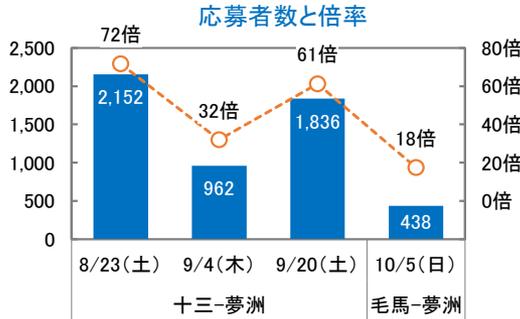
【乗船者の声】

- ・淀川ゲートウェイの中では、水位が下がるのを間近で見ることができ興味深い体験だった
- ・大堰閘門の役割や仕組みなど、船内ガイドが非常に分かりやすく勉強になった
- ・淀川ゲートウェイができたことで上流から下流まで航路が繋がったので、ぜひ船に乗ってみたい

②万博会場来場者輸送社会実験の実施結果について

応募者の特徴

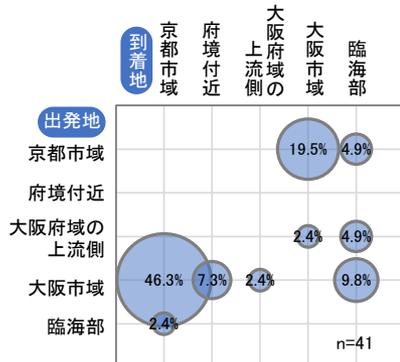
- 応募総数はのべ5,388名(2,990件)であり、高い関心があった。
- 大阪府及び兵庫県など、自宅から万博会場への経路に十三(毛馬)が含まれる、または近くを通る方が多く申し込んだ可能性があることが分かった。
- 子連れグループよりも大人1~2人での申し込みが多く、30代~60代の少人数での乗船に需要があることが分かった。



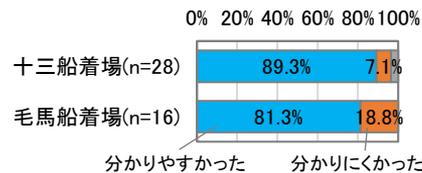
船着場の需要

- 淀川に観光船が運航する場合、大阪市域から京都市域(伏見等)、臨海部への関心が高いことが分かった。
- 駅からアクセスしやすく、地理的な優位性がある十三船着場は、大阪市域からの潜在的需要を満たしうる船着場であると考えられる。
- 十三及び毛馬船着場の設備面の要望として、トイレやベンチが挙げられた。
- 毛馬船着場に対しては、駐輪場やレンタサイクル、案内サインなど、アクセスに関わる要望が比較的多くみられた。

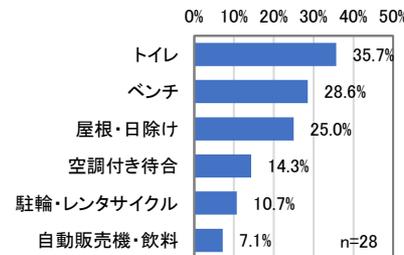
淀川で観光船に乗る際の航路ニーズ



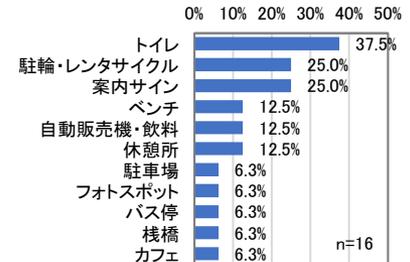
船着場へのアクセスのわかりやすさ



十三船着場周辺に求める設備



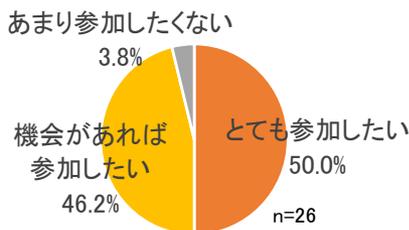
毛馬船着場周辺に求める設備



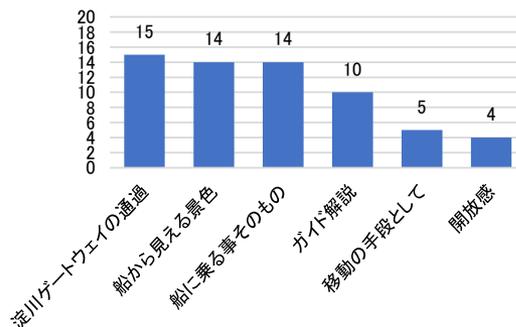
淀川ゲートウェイの通航に関する需要

- 95%以上が「とても参加したい」「機会があれば参加したい」と回答しており、高い関心があると考えられる。
- 乗船して魅力を感じたこととして、参加者の多く(16人中15人)が「淀川ゲートウェイの通過」を選択した。
- また、淀川ゲートウェイを含むインフラツアーを行う場合の支払意思額(いくらまでなら参加するか)の平均は、3,600円であった。

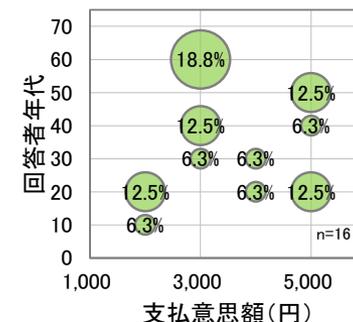
淀川ゲートウェイを通るツアーへの参加意欲



乗船して魅力を感じたこと(毛馬-夢洲航路参加者)



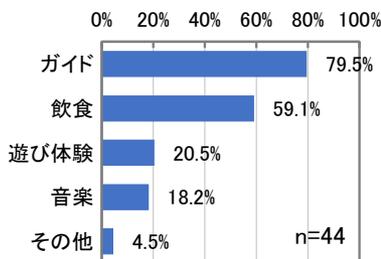
淀川ゲートウェイを含むインフラツアーの支払い意思額



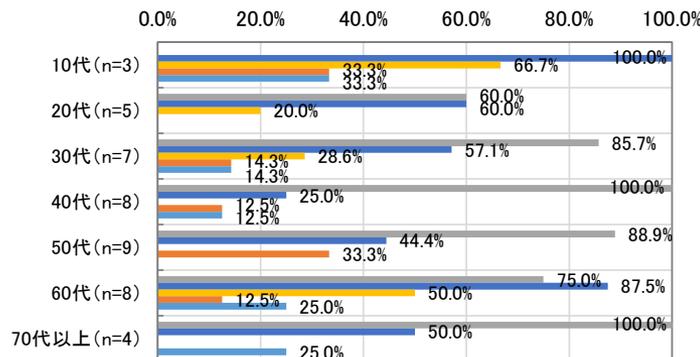
サービスに関する需要と支払い意思額

- 観光船に対する+αのサービスや企画として、ガイドへの需要が高く、参加者は淀川や舟運への関心の高い層であったと考えられる。
- 年齢別に見ると、30歳代以上のガイドの需要は概ね8割以上であるほか、10歳代、60歳代で飲食の需要が高い傾向があった。
- 豊富なガイドにより支払い意思額が増加したことから、付加価値を加えることで、支払意思額の増加に寄与すると考えられる。

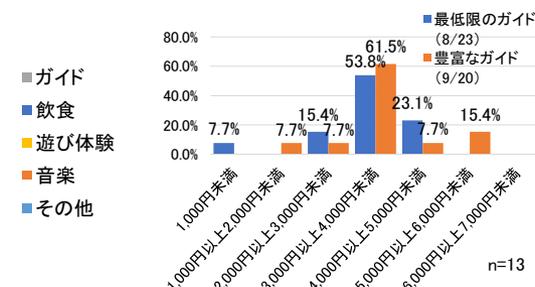
観光船と併せて提供するサービスに関する要望



年代別・サービスへの要望



8/23及び9/20参加者の十三-夢洲航路への支払意思額

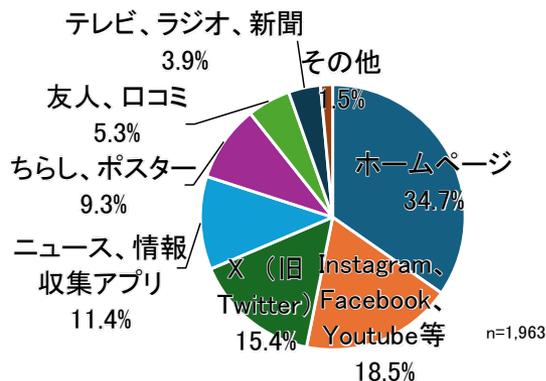


情報収集手段の特徴

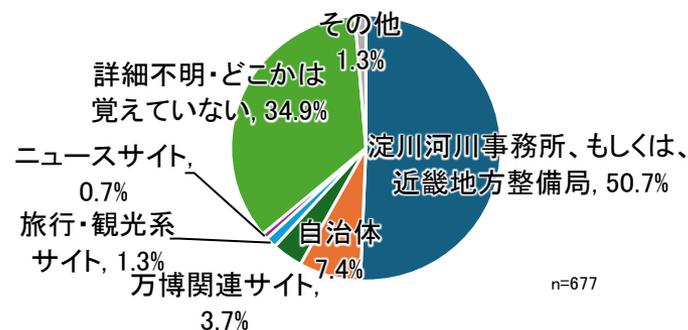
○情報収集手段として、HPやSNSが多く、その出处として淀川河川事務所・整備局公式HPを挙げる回答が多かった。

○広報においては、公式HPやSNSでの十分な情報発信が重要になると考えられ、SNSによる拡散とHPによる詳細情報が相互に役割を果たした可能性が考えられる。

今回の社会実験を何で知ったか



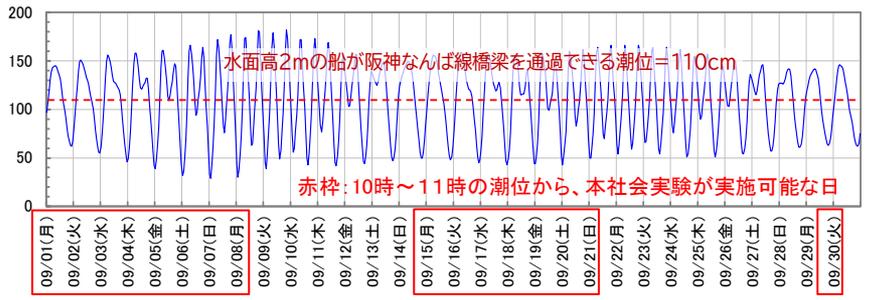
(HPを選択した人)どのサイト、どこで見たか



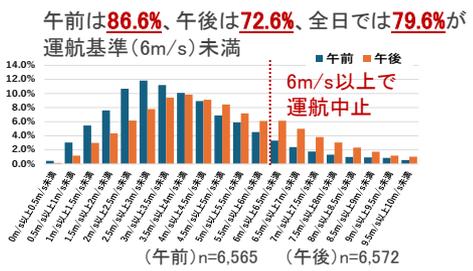
運航可能条件

- 河川区域と臨海部を同一の船舶で航行するためには、①橋梁の桁下を通過できること、②波浪等に対して十分な安定性があることが条件となる。
- 使用した船舶の条件を踏まえ、橋梁の桁下を通過可能な日数はR7年の1年間の潮位実績より、207日が運航可能、158日が運航不可能であった。
- 使用した船舶の運航基準(風速6m/s、波高0.3m以上で中止)と、過去の沿岸部の気象データ(実測値)を比較すると、風速では80%程度、波高では70%程度が運航基準未満であった。
- 風速・波高を時間帯別に見ると、午前の方が小さい傾向がみられるため、運航時刻を午前にすることが運休リスクの緩和につながる可能性がある。
- 風速・波高の年間推移を見ると、3月～6月、9月下旬～11月上旬頃に比較的小さくなっており、これらの時期が運航可能性が高いと考えられる。

参考例:大阪の潮位(9月のみ抜粋)

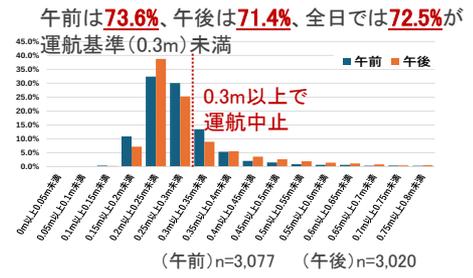


2022～2024年の風速(観測回数の割合)



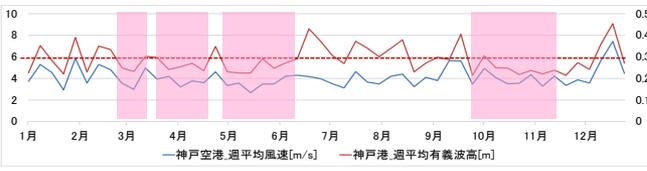
観測地点: 神戸空港(兵庫県神戸市中央区)
 <出典>過去の気象データ検索(国土交通省気象庁)

2022～2024年の波高(観測回数の割合)

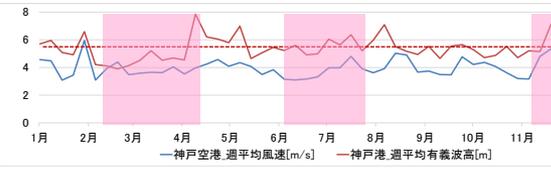


観測地点: 神戸港(兵庫県神戸市中央区)
 <出典>リアルタイムナウファス(国土交通省港湾局)

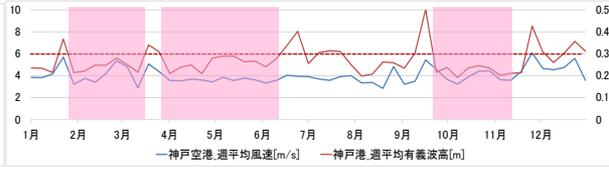
2022年 風速・波高の年間推移(週平均値)



2023年 風速・波高の年間推移(週平均値)



2024年 風速・波高の年間推移(週平均値)



赤色ハッチ: 概ね各年で風速・波高が運航基準未満の期間

快適性に関する課題

- 船内空間の狭さ(身動きがとりにくい、荷物の置き場がない)
- 魚よけのビニル囲いや、座席の向き(船内側が正面)による視界不良
- 暑さ、船の揺れ等の快適性に関する問題

採算性に関する課題

- 1便当たりのコスト低減に向けた、運航規模(頻度・定員数等)の拡大
- 客単価の引上げや集客拡大を見据えた、魅力・快適性の向上

総括・今後に向けて(まとめ)

本社会実験では、万博の影響はあるものの、十三船着場から臨海部への航路および淀川ゲートウェイの通航に一定の需要があることがわかった。
また、淀川から臨海部への川船の運航においては、風や波への対処等が必要なものの、乗換不要で夢洲まで到達することが可能であることが把握できた。
一方で、定期航路の商品化に向けて『快適性に関する課題』『採算性に関する課題』に取り組む必要がある。

令和7年度の取組報告

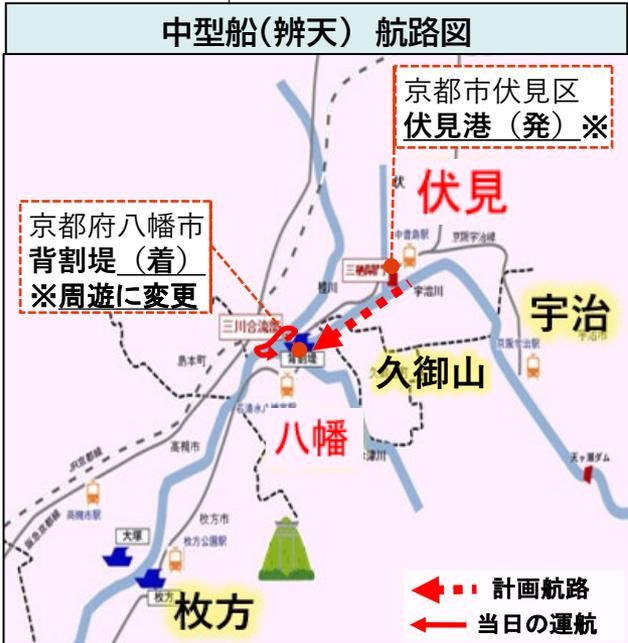
淀川舟運の更なるにぎわいの創出

近畿運輸局

実施目的 淀川沿川エリアの賑わい創出コンテンツ「淀川舟運」の地域による取組の自走化を目指し、歴史文化の解説を補助するツールを整備し、モニターツアーを実施する。モニターアンケートにより、改善点の洗い出しを行う。

実施日程
 11月9日(日)
 13:00~ 京阪電車・中書島駅 北改札口 集合
 寺田屋、月桂冠大倉記念館見学
 14:00~ 十石舟乗船(三栖閘門資料館見学)
 15:00~ 淀川クルーズ(伏見→八幡、船内試食)
 ※水量の影響により15:30~背割堤発・周遊に変更
 16:00 背割堤 着 解散

参加者
 大阪観光大学 留学生10名、教員1名
 全国旅行業協会京都支部 2名
 枚方ボランティアガイドの会 2名
 八幡市観光協会 1名



解説補助ツール

大山崎町 淀川 河津橋

サヒグループ 山崎山荘美術館

背割堤

天王山 観音寺 宝寺

淀川

八幡市

八幡店

男山

背割堤

宇治川と木津川を隔てる堤防で、春には1.4km続く見事な桜が咲き誇り、毎年開催される「背割堤さくらまつり」は多くの人で賑わいます。
 対岸には石清水八幡宮を有する男山と天下分け目の戦いで知られる天王山を望み、豊かな自然にあふれた河川敷にはさまざまな野鳥が訪れます。
 また、同地区には「さくらであい籠」があり、背割堤の桜並木が一望できる地上25mの展望塔や観光情報案内所、休憩コーナー、イベント広場などが整備されています。

* 写真・説明文は自治体からも提供
 * 情報登録のマニュアルを整備・配布予定



アンケート結果 (速報)

- ・解説補助ツールを使った感想では、88%が良かったと回答
- ・淀川クルーズツアーにおいて、留学生のニーズは「歴史・文化・地形の解説内容の充実」が54%と、食事(64%)、日本文化の体験(64%)に次いで高い
- ・観光関係者からは、江戸時代のガイドブックである「淀川兩岸一覽」の絵図と現在の様子を映像で比較するのは良いアイデアと好評価

解説補助ツール

これまでのアンケートで最もニーズの高かった「歴史・文化・地形の解説」を補助するツールとして、Google MyMapに江戸時代のガイドブックである「淀川兩岸一覽」の絵図・解説文等をプロットしたものを。スマートフォンその他、船上の大型ディスプレイでも見どころを視覚的に紹介するツールとして使用できる。

https://www.google.com/maps/d/u/1/edit?mid=1t7FdvEFyNlltEYF_GROI2d_sQseeOCQ&usp=sharing



日本語

令和版 淀川兩岸絵図...
淀川舟運

江戸時代の淀川沿岸の見どころを紹介したガイドブック『淀川兩岸絵図』を現代にアップデートしました。
表示回数 1,635回
公開: 14日前
共有

『淀川兩岸一覽』掲載スポット

- 伏見 京橋
- 淀小橋
- 淀城 水車
- 淀大橋
- 大山崎 天王山 観音寺 宝寺
- 狐渡口(橋本)
- 鞠殿
- 前嶋
- 三嶋江
- 枚方駅 驛町

歴史を感じる

- 寺田屋
- 史跡宇治川太閤堤跡
- 目棕池
- 淀城(淀城跡公園)
- 残念石
- 天王山(旗立松展望台)
- 楠葉台場跡
- 高浜砲台跡碑
- 継体天皇即位楠葉堂跡行

← 伏見 京橋

名前
伏見 京橋

説明
淀川の船旅の終着点・始点であり、大阪と江戸を結ぶ「東海道五十七次」の宿場町でもあった伏見は、江戸時代には水路と陸路が交わる一大ターミナルでした。行き交うおおぜいの旅人向けに、坂本龍馬の定宿だった「寺田屋」をはじめ数多くの船宿や店が軒を連ねて賑わっていました。伏見の「駿河屋」が江戸時代に考案した練羊羹は、お土産や旅の携行食として人気を集め、今も続く名物となっています。

解説:
当橋の北詰東北の角に城壁のごとき堀楼(やくら)あり。いにしへ伏見の城の遺風なるべし。一奇観たり。

賛(狂歌):
「乗合の船はふしみへ着きながら はなればなれに出る旅人」

モニターツアー用試行版のため、方法の登録地点はツアー実施地域を中心に選定 (協力:伏見区、宇治市、八幡市、久御山町、枚方市)



観光需要分散のための地域観光資源のコンテンツ化促進事業

事業目的・背景・課題

- インバウンド需要は増加傾向にあるが、訪日外国人旅行者は都市部をはじめとする一部地域に偏在している状況が続き、オーバーツーリズムが顕在化。訪日外国人旅行者は、諸外国滞在時と比べて娯楽サービス費支出が低く、旅行者の観光需要への対応が不十分となっている。
- 観光による経済効果を全国津々浦々に波及させ、観光消費を効果的に拡大させるとともに、持続的な地方誘客によりオーバーツーリズムの解消につながるよう、地域において観光コンテンツの供給を促進するとともに、観光の付加価値を高めるガイド人材の質的向上が必要である。

事業内容

- 需要分散に資する観光コンテンツの供給に向けた取組を支援する。具体的には、
 - 多様な地域資源を活用した観光コンテンツの造成や情報発信、販路開拓等を総合的に支援
 - インバウンドのニーズを踏まえ、品質を高めた高単価な観光コンテンツや、地域産業への波及効果が期待できるガストロノミー分野の観光コンテンツ等を重点的に支援
 - その際、継続的な販売につながるよう、デジタル上での効果的な情報発信等を促進
- 観光コンテンツとガイドの一体的な質的向上に向け、コンテンツに応じたスキル・研修設計、ガイドの評価制度と報酬体系の構築のあり方、ガイドの可視化手法等について調査する。

【支援対象事業】

- ① **新創出型** 地域資源を活用した観光コンテンツの造成、効果的な情報発信や販路開拓等を支援
- ② **品質向上型** より高単価なインバウンド向けのオプションツアー等の造成に向け品質向上等の取組を支援
- ③ **分野特化型（ガストロノミー）** 地域の食資源を活用し、幅広い連携により、地域の食文化を体感できる質の高い観光コンテンツの造成、販路開拓等を支援

事業イメージ

地域資源を活かした観光コンテンツの造成



文化資源の活用
(伝統工芸)

品質を高めた高単価な観光コンテンツの造成



地域の伝統行事の活用

ガストロノミー分野における観光コンテンツの造成

<地域一体的な食文化体験>



生産現場と食体験の連動



伝統工芸品での
高品質な食体験

コンテンツとガイドの一体的な質的向上

以下の取組のあり方について調査

- ・ コンテンツに応じたスキル・研修設計
- ・ ガイドの評価制度・報酬反映体系の構築
- ・ コンテンツとガイドのマッチングシステム構築
- ・ 実践的研修の実施

事業スキーム

●事業形態：調査事業等、間接補助事業

- ① **新創出型** : 400万円まで定額、400万円を超える部分は事業費2,100万円まで補助1/2 (最低事業費 600万円)
- ② **品質向上型** : 800万円まで定額、800万円を超える部分は事業費4,200万円まで補助1/2 (最低事業費1,200万円)
- ③ **分野特化型（ガストロノミー）** : 400万円まで定額、400万円を超える部分は事業費2,500万円まで補助1/2 (最低事業費 600万円)

●補助対象：地方公共団体、DMO、民間事業者 等

令和7年度の取組報告

淀川舟運の更なるにぎわいの創出

京都府



淀川舟運フェスティバル

日程 令和7年5月10日(土)、11日(日)

場所 伏見～八幡間(観光船運航)、府立伏見港公園、京阪中書島駅、沿川の背割堤(八幡市)、お茶と宇治のまち歴史公園茶づな広場(宇治市)、久御山町船着場、淀川河川公園枚方地区などと連携して実施

概要 淀川舟運を万博開催を機に復活させ、観光資源としての魅力を発信するにぎわい創出イベントを開催

来場者数 **約1万人**



■観光船の運航(伏見船着場～背割堤船着場) 2日間で**167名**が乗船



淀川水域特別記念クルーズ
まるごとわくわく講座 伏見⇄八幡
～淀川の生態系(魚と鳥)・歴史文化(今と昔)～
In 淀川舟運フェスティバル

大人から子どもまで楽しめる淀川河川レジャーによる「まるごとわくわく講座」を開催



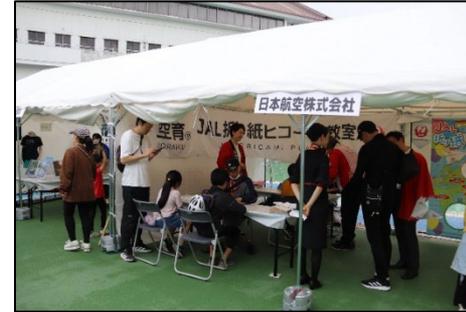
10日は前日の降雨に伴う増水により伏見港船着場が水没。接岸できず背割堤発着の遊覧船として運航

■オープニングセレモニー

■ステージイベント

■テントブース

■トレインマーケット



高校や大学、地元団体(計14団体)が音楽やダンスなどを披露

京都の川巡りなど川の魅力を伝える展示のほか、「まゆまる」等ゆるキャラとの触れ合いや折り紙飛行機製作など子供も楽しめる催しも実施

中書島駅で沿川市町の特産品の販売、お絵描きコーナーや京阪電車の制服を着て記念撮影など家族で楽しめるイベントを実施

淀川舟運を活かした観光ツアー一造成事業

日程 令和7年11月7日(金)、8日(土)、9日(日)

場所 八幡周辺

概要 旅行会社等を対象としたファミトリップや一般向けのモデルツアーを実施
 ※11/8日には、ふしみなーとフェスタ2025、KUMIYAMA MIZUBE TRIAL VOL.2秋のカワピラキが開催(航路変更のため連携できず)

運航日	乗船者	人数	航路	当初の航路 ※水深不足のため変更
11/7(金)	旅行会社等	44名	八幡周辺 【3便】	八幡～伏見
11/8(土)	一般	76名	〃 【3便】	伏見～久御山
11/9(日)	一般(プレミアムツアー)	32名	〃 【1便】	—
	メディア・インフルエンサー等	23名	〃 【1便】	八幡～伏見



11/9背割堤船着場の様子
(水たまりで覆われる)

3日間合計 8便175名

ファミトリップ・モデルツアー



船内コンテンツ



ガイドによるモニターを使用した歴史等の説明



地域の名産品

参加者の声

- 旅行関係事業者
 - ・ただ舟に乗るだけの体験ではなく、多様な旅行商品の可能性がある
 - ・旅行商品の造成に向けて船内コンテンツの様々な試行やモニターツアー造成にチャレンジしたい
 - ・伏見港船着場については、観光バスが近くに停車できず、ツアー催行は難しい 等
- 一般参加者アンケート
 - 94%が「満足」・「少し満足」と回答

令和7年度の取組報告

淀川舟運の更なるにぎわいの創出

大阪市淀川区・枚方市・八幡市
京都市伏見区・宇治市・久御山町

【協議会の開催状況】

令和7年11月6日(木) 第8回淀川河川敷十三エリア魅力向上協議会 開催

- ・事業経過を報告
- ・事業報告及び事業計画書変更について承認

【淀川河川敷十三かわまちエリア プレイベント】

令和7年3月16日(日)開催の「淀川大堰開門及び十三船着場利用開始記念報告会」と同日に、大阪・関西万博開幕1ヶ月前記念として実施。



【バーベキュー事業(WONDER BBQ FIELD 十三)】

エリア全面オープンに向け、段階的な供用開始として、令和7年4月29日(火・祝)から予約制により実施
 ・令和8年1月末時点の利用者数 約2,700人



【淀川・十三周遊クルーズ】

令和7年10月5日(日) 12:00~14:30 57名乗船
 ・十三船着場発着の30分サイクルで6便運行(1便につき最大12名)



【自然体験学習】

- ① 令和7年7月26日(土) 生き物ハンティングで、めざせ自由研究マスター
- ② 令和7年10月5日(日) 水環境について学ぼう!
- ③ 令和7年10月12日(日) わくわくハゼ釣り教室

⑦淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり計画の取組状況について

▼令和6年度、国により「園路拡幅工事」「移動式トイレ」を整備



令和7年度は、令和6年度に河川事務所により整備され、親水空間としての魅力が向上した多自然池を活用し、淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり協議会参画団体を中心に新規イベントを開催した。また、大型車両のアクセス改善のため、令和6年度に拡幅された園路を活用し、危機管理部局と河川事務所が連携して舟運災害活用を見据えた物資運送訓練を実施した。このほか、高規格堤防活用の具体化に向け、キャンプデッキを設置し、ニーズ調査を行うなど課題検証を行った。

▼令和6年度に国により
浚渫・伐採を実施

▼令和7年度に協議会主催事業として参画団体により、
整備された多自然池を生かしたイベントを複数開催

▼令和7年度、舟運災害活用を見据えた
物資運送訓練を実施(国・市で連携)。

R7.11月

活用



樹木伐採後

活用



多自然池まるごと体験※1

令和7年6月／9月



生物観察ワークショップ※2

令和7年9月



ロハスパーク枚方with
アクティビティらわんか※3

令和7年10月

多自然池活用や
大型イベントと連動

高規格堤防活用

多自然池整備

利便性向上に
向けた環境整備

リバーテラスらわんか※4

◀実証実験としてキャ
ンプデッキを設置



R7.10月

京阪枚方公園駅

【イベント集客数】※1:6月9月計約1,045人／※2:親子8組／※3:約14,654人／※4:469人

⑧八幡市かわまちづくり計画の取組状況について

令和7年度の取組について

【協議会の開催状況】

- 8/28 第3回八幡市かわまちづくりWG 開催
- 10/20 第4回八幡市かわまちづくりWG 開催
- 1/30 第2回八幡市かわまちづくり協議会 開催

賑わい創出のためのイベントや社会実験等を行いました。

【八幡市クルーズ】

宇治川で観光舟運の振興目的で実施。
4/13 23組73人乗船

【三川マルシェwith八幡アクティビティ】

子ども・家族連れ対象に、消防車や集配車両など「はたらくるま」を展示
5/10～11 1,200人
10/11～12 2,900人

【木津川川下り体験】

木津川「流れ橋」から背割堤までの川下り体験
7/27 19人



大阪・関西万博開催記念
八幡市クルーズ
～やわたの物語を巡る～

お申込はこちらから
申込×4/10

日時：令和7年4月13日(日) 9:00～

やわたの物語を聞きながら背割堤を舟で巡ります
～一緒に舟に乗って八幡市をクルーズ
そしてオリジナル「やわたの物語」をつくってみませんか～



淀川舟運フェスティバル

伏見会場 6/10(土) 11(日)

枚方会場 6/10(土) 11(日)

みなと五八市 6/10(土) 11(日)

会場をつなぐEポート



⑨伏見地区かわまちづくり計画の取組状況について

○令和7年度の取組について

【協議会・WG】

- ・「川のみなとオアシス 水のまち 京都・伏見」
運営・まちづくり協議会
9月29日(月)
- ・ふしみなーとフェスタ運営WG
7月8日(火)、9月10日(水)、12月10日(水)

【淀川舟運フェスティバル】

- 令和7年5月10日(土)、11日(日)
- 宇治川(淀川)沿いの5会場で実施。伏見会場は京阪電車内でのマルシェ等のほか、屋形船風遊覧船を運航(伏見～八幡)

【Eボート川下り&とっておき体験】

- 令和7年10月4日(土)※伏見区
(5日(日)、11日(土)、13日(月・祝))
- 四市(京都市伏見区・宇治市・八幡市・枚方市)合同で宇治川(淀川)をEボートで川下りする事業と体験事業を実施。※伏見区は利き酒体験

【ふしみなーとフェスタ(伏見～久御山)】

- 令和7年11月8日(土)
- 伏見港公園エリアで実施する「ふしみなーとフェスタ」と同日開催で淀川舟運モデルツアー(伏見～久御山)を実施
- (参考) 来場者数:約5,000人

【KYOTO CITY OPEN LABO】

- 民間事業者から活用事業者の提案を募集中



○令和7年度の取組について

【協議会の開催】

- ・6月10日 第5回宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会開催
天ヶ瀬ダム地区における都市・地域再生等利用区域の申請にかかる要望書案についての協議を実施 他
- ・3月中に第6回宇治川・天ヶ瀬ダム活性化協議会を開催予定

【天ヶ瀬ダム地区での取組】

- ・10月17日 都市・地域再生等利用区域の指定
- ・1月20日 占用許可が下りる
- ・左岸側管理用通路沿いに市民参画で桜植樹予定(令和8年3月)

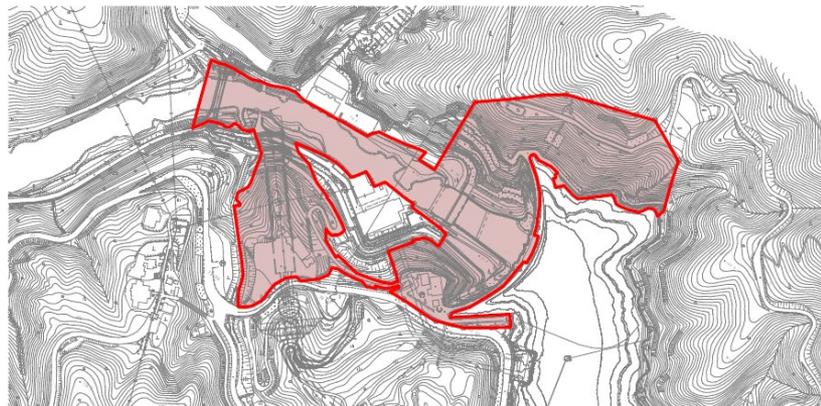
【宇治橋地区での取組】

- ・高水敷整正、管理用通路の整備(国)
- ・かわまちづくりエリアでのイベント実施

【イベント等の実施(一部抜粋)】

- ・淀川舟運フェスティバル(5月10日、11日) 宇治会場での取組み
 - <5月10日>
宇治川Eボート川下り体験(宇治～伏見)の実施。
また、Eボート出発地である茶づなで「水に親しむわくわくフェスタ」を実施。マルシェやSUP、カヤックプチ体験等を実施。
 - <5月11日>
宇治川源平龍舟祭の開催。
- ・宇治川の鵜飼の実施
7月～9月(開催日数77日) 参加者数 3,418人
- ・4市連携イベントの実施
宇治市、伏見区、八幡市、枚方市で連携し、イベントを実施。
宇治市では10月5日に「Eボート川下り & っておき体験(天ヶ瀬ダム見学)」を実施し、出発地である茶づなではマルシェも実施。

別 図 都市・地域再生等利用区域



Eボート川下り



わくわくフェスタ



宇治川の鵜飼



宇治川源平龍舟祭

⑪久御山町かわまちづくり計画について

久御山町では、川を中心としたまちづくりを進めていくにあたり、新たな拠点づくりを行う『KUMIYAMA MIZUBE STATION PROJECT』を推進しています。

- かわまちづくり計画の策定にあたっては、河川空間を『みんながやってみたいことを実現することができる場』となるよう、住民参加型のワークショップ（以下、「パートナーズ(仮)会議」）を開催し検討を進めています。
- パートナーズ(仮)会議での検討を踏まえ、地域住民等が中心となった実証実験として『KUMIYAMA MIZUBE TRIAL』を開催し、屋台やキッチンカー、ステージ企画、体験型のワークショップ等の企画を実施（R7年5月、11月）。
- 宇治川沿いで国土交通省が整備する防災拠点施設（久御山町西一口）においても、かわまちづくり計画と連携した拠点づくりを目指しています。

■KUMIYAMA MIZUBE TRIAL



≪実証実験の様子(SUP・BMX体験)≫



■パートナーズ(仮)会議

地域団体や住民が主体となって活動を企画・運営できる仕組みを整備。協働による新たな地域活動の創出や団体の育成、他のソフト施策との連動を図る。



関係主体	役割分担
会議参加者	企画・運営検討
各種事業者	企画連携・サポート
指定管理者	事務局・サポート
久御山町	国・各機関との調整

■当日の様子

KUMIYAMA MIZUBE STATION PROJECT のキックオフイベントとして、みんなが水辺で「やってみたいこと」を「やってみる」トライアルイベントを開催しました。5つのエリアに分かれて、屋台やキッチンカー、ステージ企画、体験型のワークショップなど18企画が実施され、約700名の方にご来場いただきました！

イベントの様子
動画リンクはこちら



KUMIYAMA MIZUBE NEWS LETTER Vol.04より抜粋

令和8年度についても、地元主体と連携した社会実験を実施し、かわまち計画の推進へ向けた機運の醸成を図ることとしています。

令和7年度の取組報告

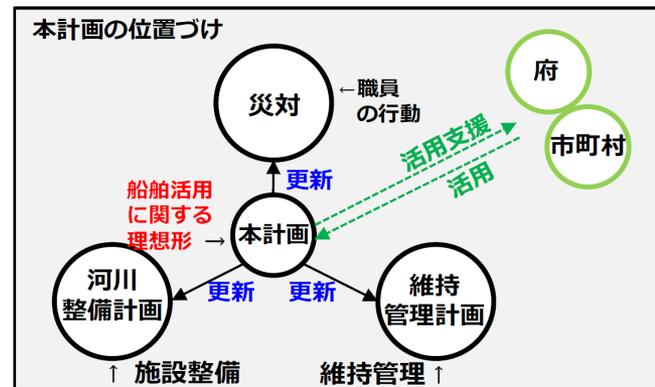
災害時における淀川舟運の活用促進

近畿地方整備局

⑫ 淀川舟運活用防災計画の周知について

・淀川管内水害に強い地域作り協議会(ブロック別会議)を実施し、淀川舟運活用防災計画(案)の共有を行った

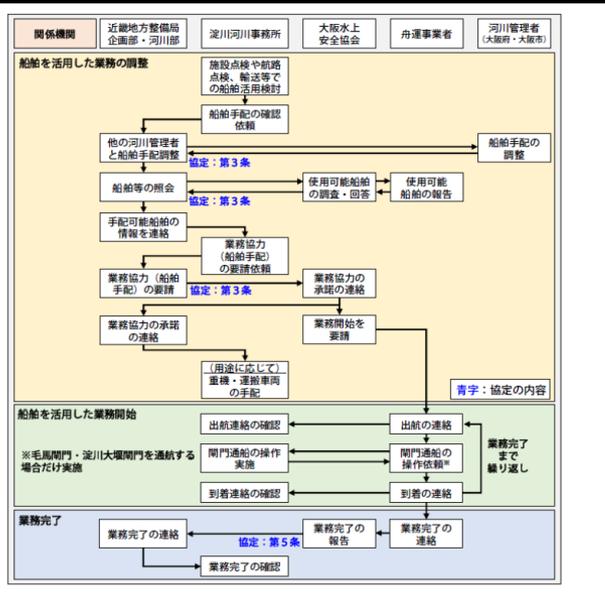
- ・淀川下流ブロック会議：8月20日（水）
【出席者】大阪府、大阪市、守口市、寝屋川市、大東市、門真市、東大阪市
- ・淀川中流ブロック会議：8月27日（水）
【出席者】大阪府、吹田市、高槻市、枚方市、茨木市、摂津市、島本町
- ・宇治川ブロック会議：9月3日（水）
【出席者】京都府、宇治市、久御山町、宇治田原町



■ 淀川河川事務所による活用

災害当日、円滑な対応を行うため、淀川河川事務所による淀川舟運活用時の『船舶活用の調整フロー』等を示す。

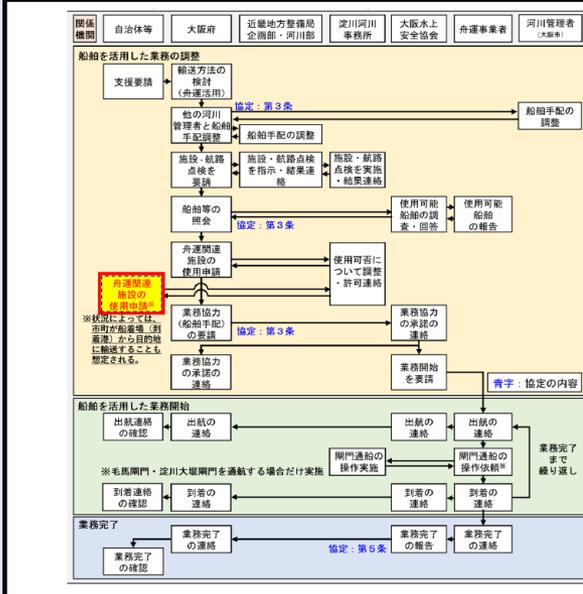
■ 淀川河川事務所による船舶活用の調整フロー



■ 自治体等の災害対応支援

災害当日、円滑な対応を行うため、自治体等に淀川舟運活用時の『調整フロー』等を示す。

■ 自治体等による船舶活用の調整フロー（例：プル型）



- 1月16日に淀川河川事務所と大阪府、枚方市、寝屋川市、陸上自衛隊が連携して淀川舟運を活用した防災訓練を実施しました。
- 本訓練は、関係機関が合同で実施し、平常時における連携強化、課題の抽出・対応を行うことで、有事の際、舟運という輸送手段を利活用可能にすることを目的としています。
- 訓練では、大阪府がプッシュ型で枚方市及び寝屋川市へ生活物資の輸送をすることを想定し、鳥飼緊急用船着場で緊急物資を積み込み、両市の地域防災計画の活動拠点である枚方緊急用船着場、点野緊急用船着場それぞれで物資の荷下ろしをし、その後、自衛隊が徒歩で両市それぞれの防災拠点まで運搬しました。
- また、点野・新北野緊急用船着場間については、3月に通航可能となった淀川ゲートウェイを航行し左岸側から右岸側へ帰宅困難者等の人員輸送を想定し、航路、船着場の現況確認を行いました。

■ 概要

実施日時：令和8年1月16日(金) 11:00～15:30

参加機関及び参加人数：淀川河川事務所（11名）大阪府（11名）、枚方市（7名）、寝屋川市（3名）、陸上自衛隊伊丹駐屯地第三十六普通科連隊(80名)

■ タイムスケジュール

- 12:20 積込・出航(鳥飼緊急用船着場)
- 13:00 物資の荷下ろし、運搬
(枚方緊急用船着場)
- 13:50 物資の荷下ろし、運搬
(点野緊急用船着場)
- 15:30 新北野船着場に到着

■ 訓練の様子



■ 参加者からの意見・コメント

- ・特に橋が災害で使えない時、帰宅困難者、けが人、物資輸送に舟運がかなり有効になると感じた。
- ・自衛隊の方もたくさん来られており、実際に近い雰囲気での災害訓練ができて良かった。
- ・今回は人数が多かったのでスムーズにできたが、物資が多くなればそれだけ人数も必要になってくると感じた。



お問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所 流域治水課

〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目2-10 TEL 072-843-2861



令和7年度の取組報告

災害時における淀川舟運の活用促進

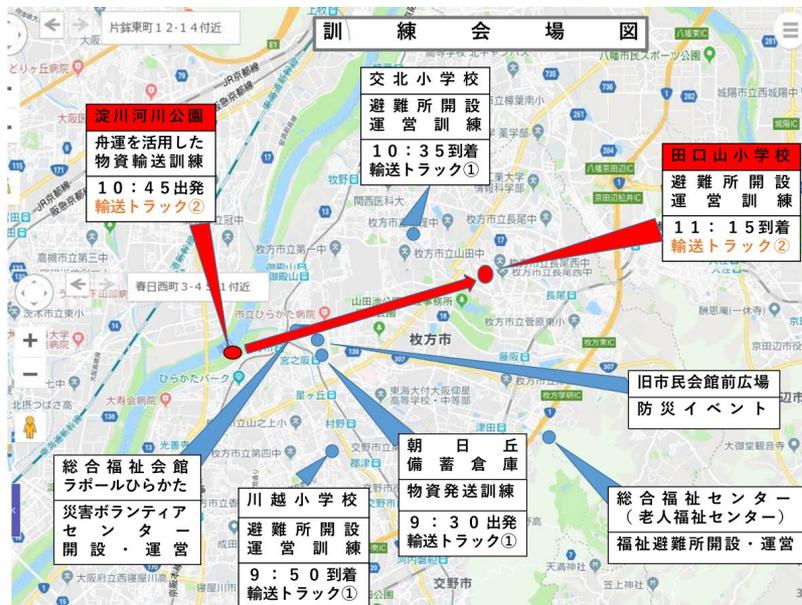
枚方市

枚方市では令和7年11月22日（土）に開催した令和7年度枚方市総合防災訓練の一環として、舟運を活用した物資輸送訓練を淀川河川事務所と連携して実施しました。大阪府からのプッシュ型緊急物資が舟運を活用して枚方緊急用船着場に到着し、避難所まで輸送する訓練とし、管理用ゲートの解錠や物資積み込みなどの実動訓練を実施し、円滑な物資受け取りが可能な環境の確認をするとともに、災害時の活用を想定した「淀川舟運活用防災計画（案）」の有用性を検証した。

実施概要

- 枚方市周辺で発生した大規模災害時には、大阪府は枚方市からの要請を待たずに、プッシュ型で中部広域防災拠点から『渚市民体育館』に物資を運搬し、集積する予定である。
- 使用を想定していた道路は交通途絶が発生し、道路渋滞も深刻であることから、淀川舟運により枚方緊急用船着場まで物資を輸送し、枚方緊急用船着場から『渚市民体育館』に物資を運搬する。
- その後、枚方市は『渚市民体育館』から各避難所（田口山小学校等）へ物資を運搬する。

訓練会場図



船着場から各会場への輸送

令和7年度枚方市総合防災訓練

11/22(土)
9:00~15:00
少雨決行・荒天中止

枚方ひこ防'z

**起きるかわからない
その日の備えを**

11/22(土) 緊急速報メール発信
午前9時 身の安全を確保する行動を!

9:00~11:30 見学可
枚方市全域で防災訓練

12:00~15:00 参加可
旧市民会館前で防災イベント

- 市内3箇所の避難所開設**
交北・川越・田口山の小学校で避難所を開設します。公衆無線LAN「0000JAPAN」も利用可能。
- ボランティアセンター開設**
枚方市立総合社会館ラポールにて、ボランティアセンターを開設。受付から活動までの流れを確認します。
- 協定先との連携を強化**
ドローンや建設士会による避難所の安全点検、支援物資のトラック輸送等を協定先と連携して実施します。

- 体験型のブースが充実**
地震体験や煙体験、VR技術を利用した災害体験、ミニ消防車の展示など、どなたでもご参加いただけます。
- 災害用備蓄品などを紹介**
自宅での災害用備蓄品だけでなく、ライフラインや家具固定に関する商品を知ることができます。
- 市職員や事業者による実演**
感震ブレーカーパネルの実演や、給水活動訓練、耐震化模型の実演などをご覧いただけます。

枚方市 危機管理部 ☎072-841-1270 FAX 072-841-3092
✉ kikikami@city.hirakata.osaka.jp

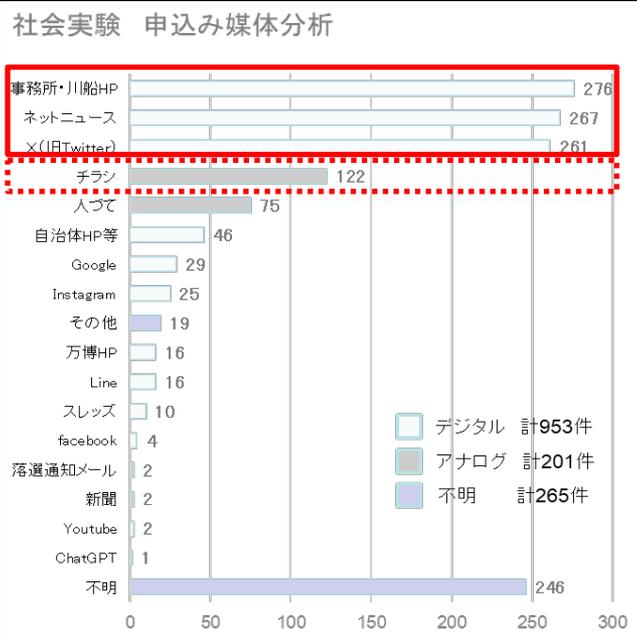
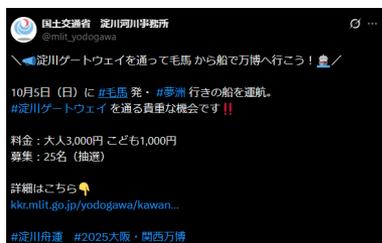
詳細は市HP

令和7年度の取組報告

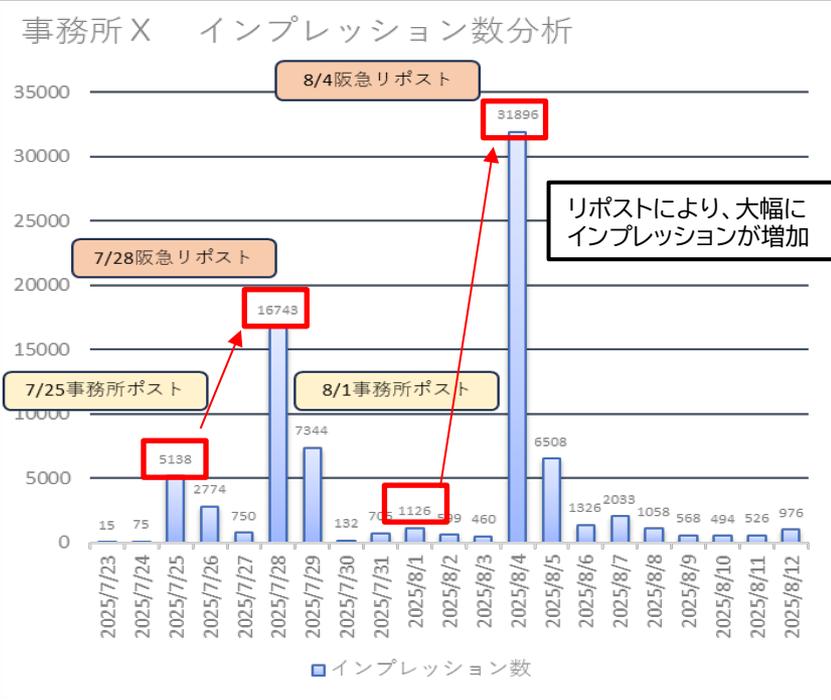
淀川舟運の情報発信

⑭ 淀川舟運の情報発信に関する取組

- ・社会実験で実施した情報発信のうち、申し込みに繋がった媒体はデジタル媒体が67.2%、アナログ媒体が14.2%であった
- ・事務所Xでは事務所単独のポストと比較して鉄道事業者によるリポートを行うことでインプレッションが大幅に増加し、情報拡散の効果が得られた
- ・今後、インバウンドに向けた情報発信の本格化が課題



- 申込者の情報入手媒体は、デジタル媒体がTOP3
- ①事務所・川船HP
- ②ネットニュース
- ③X(Twitter)
- 紙媒体である「チラシ」は4位だが、デジタル媒体への接点の少ない方への宣伝効果がある
- デジタル媒体経由の申込者 953件
- アナログ媒体経由の申込者 201件
- デジタルはアナログの約5倍となっている。
- ※チラシ発行部数・・・6,200部
- ※ポスター発行部数・・・100部
- チラシ・ポスターの配架については、淀川舟運活性化協議会委員に配架協力を賜りました。



- 淀川河川事務所のフォロワー数は、1,652人。淀川河川事務所ポストも一定の宣伝効果あり。
- 淀川舟運活性化協議会のメンバーである阪急電鉄に広報協力を依頼。阪急電鉄のフォロワー数は、22.7万人。阪急電鉄のリポートによって大きくインプレッションを押し上げているものと思われる。

- 【淀川舟運の情報発信に関する現状の課題】
- インバウンドへの効果的な情報発信方法
 - 淀川舟運ポータルサイトの多言語化検討
 - 協議会委員各位との情報共有・連携強化